

警察行政職員になろうと思ったきっかけは？

様々な角度から県民の力に！

就職活動を始める前は、両親が公務員だったこともあり、漠然と公務員を志望していました。企業研究をする中で警察行政職員という職種を知り、興味を持ったことが最初のきっかけです。それまで警察職員は全員が警察官だと思っていたため、行政職があることを知って驚きました。さらに企業研究を進めるうちに、所属によってさまざまな業務があることを知り、いろいろな角度から県民の方々に貢献できると感じて、警察行政職員を目指すようになりました。



実際に働いてみて感じたギャップは？

垣根のない業務内容

想像していた以上に、警察官と警察行政職員との間に隔たりがないということです。警察行政職員というと、警察官の業務を支える「緑の下力持ち」というイメージがありました。しかし、実際に働く中で、警察官と警察行政職員という立場を超えて、一人ひとりが知識や経験、得意分野を活かし、共に組織の一員として一緒に仕事をしているという印象に変わりました。警察官との距離が近く、日々の業務を通じて互いに学び合える環境だと感じています。



若手職員の1日

警察職員の1週間の勤務時間は38時間45分が基本です。勤務体系は部署により異なりますが、原則、日勤制勤務(8:30～17:15)です。

警察本部 会計課 予算係

8:30 勤務開始・メールチェック
9:00 各種照会対応、資料作成
12:00 昼休み
13:00 打合せ
17:15 勤務終了

業務内容

主な業務……次年度当初予算の編成、予算管理、決算事務、緊急時・過不足時の補正予算の編成
その他業務……他部局からの照会依頼に対する調査や資料作成等

計画的に業務に取り組んでいます

寄り添った対応を心掛けています

警察署 交通課 運転免許係

8:30 勤務開始・窓口準備
9:00 窓口業務
12:00 昼休み
13:00 窓口業務
16:00 書類確認・締め作業
17:15 勤務終了

業務内容

主な業務……視力検査や写真撮影、免許証の交付等の免許更新手続
その他業務……免許返納手続、免許証の記載事項変更手続等

転職者の声

Q 転職を決意した理由は？

A. より社会貢献性のある仕事に携わりたいと思い、行政職への転職を決意しました。また、人々のあらゆる営みは安定した秩序や治安を土台に成り立つものであると考え、これに貢献できる警察行政職員を目指しました。

Q 転職前に不安に感じていたことは？

A. 警察学校での生活に不安を感じていましたが、いざ入校すると職業訓練学校としての規則や規律はありながらも、自由な時間や同期と交流する時間も多く、1か月という短期間でたくさんの思い出と仲間を得ることができました。



前職／金融機関(営業職)

Q 転職希望者に向けたメッセージをお願いします。

A. 一通りの社会人経験が身に付いていれば、誰もが各自の経験を基に十分に活躍できる職場です。福利厚生や身分の安定性に関しての心配もないため、転職直後でも心理的に安定して働くことができました。転職に向けて不安を感じる部分もあるかもしれませんが、心配しなくて大丈夫です。私自身も同じ思いを抱えていましたが、今では転職して良かったと感じています。

警察行政職員になるために！

試験から採用まで

第1次試験

第2次試験

最終合格発表
(採用候補者
名簿登載)

採用意向
確認

内定
採用

警察学校
入校

●教養試験

●専門試験(大学卒業程度のみ)

●適性検査

●論(作)文試験※

●面接試験

※論(作)文試験は第1次試験日に実施しますが、採点は第2次試験以降に行います。

警察学校の
入校期間は1か月

警察学校での
教養システム

- 職務倫理教養……警察職員としての心構え
- 警察実務……警察法、地方自治法等の関係法令の履修
- 警察礼式……警察職員としての規律・礼節
- 警察会計……会計経理に関する基礎教養
- 情報管理・OA教養……情報セキュリティやパソコンの基礎教養についての教養

座学中心です。
警察官のような
武道の授業は
ありません。



警察行政職員

Q&A

Q 実際に行った採用試験対策は？

※あくまで一例です

【第1次試験】

・例題や購入した参考書を繰り返し解いた
・出題数の多い分野や自分の得意分野を中心に勉強した
・公務員講座を受講した 等

【第2次試験】

・自己分析や受け答え、話し方の練習をした
・先生や先輩、家族等の身近な人たちに本番を想定した面接練習に付き合ってもらった
・想定問答集を作成した 等

Q 警察学校での思い出は？

勉強だけに専念するのかと思っていましたが、実際には勉強以外のイベントもあり、学校の裏山に登ったりバドミントン大会に参加するなどして、あっという間の1か月でした。自由時間には同期と談話室でテレビを見たり勉強したりして、1か月しか入校していなかったとは思えないほど絆が深まりました。



Q 働いてから役に立ったと感じた資格やスキルは？

学生時代のアルバイトで培った接客経験が活きていると感じます。対応時の話し方、言葉遣い、意図を酌み取る力など、アルバイトで得た経験や学びがあったからこそ窓口業務にも臆することなく対応することができました。



Q 普段の業務で心掛けていることは？

まずは自身で考え、その上で判断に迷う課題には独りで判断せず、上司に相談し組織として間違いない対応ができるよう心掛けています。また、他の係の業務にも常に関心に向け、視野を広げ知見を深めるよう努めています。



目の前の仕事を上手く早くこなすのみにとらわれず、この業務がなんのためにあるのか、その目的を意識して行動するよう心掛けています。優先順位や仕事の進め方を考える上で重要な基準となりますし、仕事に行き詰った時に、本質に立ち返ることで視野が開けてくることもあると思います。



静岡県警察の採用に関する
お問い合わせ先

静岡県警察 採用チーム

静岡県警察 採用

検索

0120-489276

<https://www.pref.shizuoka.jp/police/saiyo/>

SHIZUOKA POLICE

警察行政職員 業務案内



静岡を守る

Q.警察行政職員とは？

県民の安全・安心な暮らしを守るという使命感のもと、「警察行政」の分野において、警察官と共に治安維持のために活躍する職員のことです。

Q.求める人物像は？

警察官と共に組織の両輪として機能し、「全員で成果を出す」静岡県警察を構築するために、多彩な人材を求めています。

広い視野と新たな取組に挑戦する意欲を持つ人

高い使命感・強い倫理観・人権感覚を持つ人

警察行政の立場から治安維持に貢献したい人

Q.職場の雰囲気は？

気さくで優しい人が多く、業務上の悩みや困りごとがあれば解決に向けて一緒に取り組む温かい雰囲気があります。役職に関係なく意見を伝えることができる風通しのよさも魅力です。

一人ひとりが自立して業務に取り組みながらも、対外的には組織の一員としての意識が根付いており、部署全体で支えあう一体感があります。

真剣に意見交換をするときもあれば、リラックスした雰囲気できれいに話すこともあり、和やかでありながらもメリハリのある職場です。

Q.給与・賞与は？

初任給 (地域手当込)	大卒	約251,000円
	高卒	約218,300円
1年目 賞与総額	大卒	約748,900円
	高卒	約651,500円

経歴に応じて増(減)額する可能性があります。支給要件を満たした場合には、各種手当も支給されます。

給与水準(ラスパイレス指数)
都道府県別4年連続1位

※令和6年地方公務員給与実態調査結果等の概要

2026.4.1時点

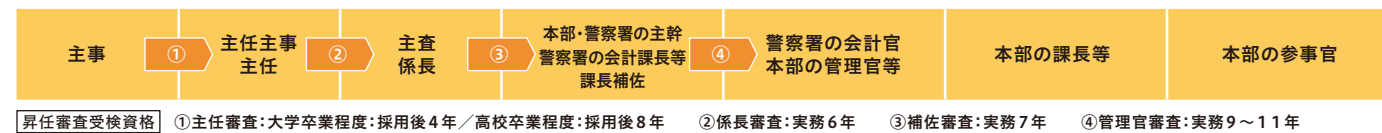
Q.勤務地は？

主に静岡県内(警察本部・警察署)で勤務します。県内各地に世帯用・単身用の職員住宅が整備されているほか、民間のアパート等を借りる場合には、家賃に応じて住居手当が支給されます。

通勤手当も支給され、遠距離通勤者は新幹線や高速道路の利用が認められる場合があります。

Q.キャリアアップは？

試験や面接等により、平等に審査されるキャリアアップ制度があります。



警察行政職員の仕事

組織運営、人事管理、予算の編成・執行、調査統計、職員の福利厚生、遺失物・拾得物の取扱い、鑑識業務、免許業務など警察行政職員の仕事は多岐にわたります。



静岡県警察本部

総警務部門 広報課

- 報道機関への情報提供や連絡調整
- 県警HPやSNSの管理運用
- 学生の社会科見学対応等の警察広報業務
- 定例記者会見の開催
- 本部庁舎の受付業務

やりがい

県民の方が直接目にしたり耳にする情報を発信する窓口として活躍できる。

庁舎見学等の広報業務をきっかけに警察業務に関心を持ってもらえたと実感できる。

総警務部門 会計課

- 県費の予算及び決算に関すること
- 旅費の審査・執行
- 報償費・補助金の執行
- 会計検査及び監査
- 契約事務全般
- 物品、装備品、被服、車両の管理・運用

やりがい

会計部門の立場から組織の未来に携わることができる。

自らの手で多額の予算の執行等に携わることができる。

総警務部門 施設課

- 警察組織の整備に係る企画・予算要求
- 警察署・交番駐在所等の建設
- 庁舎の管理・修繕・工事
- 財産の取得・管理・処分

やりがい

警察署や交番駐在所等の建設により、目に見える形で成果が残る。

他部局との関わりで見識が広がる。

総警務部門 情報技術企画課

- 業務のデジタル化やIT技術の導入推進
- 情報セキュリティ教養・監査
- パソコンやネットワークの整備・運用
- システム開発・保守に関する業務

やりがい

組織全体の機能を維持・発展させる役割を担うことができる。

様々なシステムに触れる機会があるため、警察業務全般を把握することができる。

総警務部門 警務課

- 業務の合理化・効率化
- 働き方改革の推進
- 警察署等の庁舎移転・新設に関する総合調整
- 給与制度の企画や研究、給与の支給管理
- 例規文書の審査業務
- 人事・採用管理

やりがい

自分の行った仕事有形として残り、実現不可能と思われていた新しいことにも挑戦できる。

組織や職員全体に影響する業務に携わることで、将来の展望を持って仕事ができる。

総警務部門 厚生課

- 健康診断、人間ドック、健康相談、ピアサポートに関する業務
- 医療費、年金給付業務
- 貸付、保険業務
- 祝金等の給付・助成、ライフプランセミナーの開催

やりがい

職員やその家族の生活基盤を支えることができる。

他所属の担当者と連携して事業を行うことができる。

警察署



警務課

- 職員の勤務管理、健康管理
- 署の車両管理
- 署や交番、官舎等の施設管理
- 庶務、文書、会議準備など署全体の事務調整
- 福利厚生業務
- 広報・行事運営
- 給与・旅費支給業務

やりがい

署の中核部門として業務に携わることができる。職員の管理等に関する業務を通じて、職員一人ひとりを支えることができる。



会計課

- 警察署の予算及び執行に関すること
- 遺失拾得(落し物)業務
- 署や交番、官舎等の施設管理
- 物品の購入・管理
- 給与・旅費支給業務

やりがい

物品購入、契約事務等、署員と連携して警察署運営の根幹をなす業務を担うことができる。遺失物の返還等を通して県民の方の安心した姿を見ることができる。



交通課

- 運転免許証の更新手続
- 運転免許証の記載事項変更手続
- 運転免許証の返納手続
- 高齢者講習や違反者講習の案内・予約対応

やりがい

県民の方々の身近な窓口として、交通安全に貢献できる。地域の交通事情を身近に感じながら、安全運転の意識向上に寄与できる。



交通部門 交通規制課

- 交通情報の収集
- 交通情報の提供
- 渋滞情報の作成等管制システムに係る業務
- 信号機の設計・管理・運用

やりがい

交通情報を集め、県民の方々に情報発信することで、交通事故防止に貢献できる。信号機等、生活に欠かせない機器の管理運用ができる。



交通部門 運転免許課

- 運転免許の取得、更新、行政処分、講習等
- 運転者教育
- 免許制度運用のマニュアル整備
- 外国運転免許証の切替手続
- 高齢者の交通事故防止対策

やりがい

運転免許業務を通じて広く県民の方々とふれあいを持つことができる。交通安全の「基盤」として県全体の安全・安心に貢献できる。



刑事部門 鑑識課

- 鑑定業務
- 指紋や足痕跡資料の保管・管理
- 身元不明者の身元確認
- 犯罪に係る写真の印画・登録作業
- 証明書類の発行

やりがい

犯人を割り出す・事件を解決する・身元を特定する等、県民の方々のために働くことができ、目に見える達成感を得ることができる。

統合庶務

- 警察本部の各部門における庶務業務
- 職員の勤務管理、給与・旅費支給業務
- 職員の福利厚生業務
- 物品管理

やりがい

担当所属の職員全員と関わるができる。幅広い業務を学ぶことができる。複数人で同じ業務を担当するため、係で協力しながら仕事を進めることができる。

専門職種

- 音楽隊員……………警察行事や防犯・交通安全イベント等における演奏等
- 高度情報技術者……………警察業務における情報処理システムの開発と運用
- 心理カウンセラー……………被害者及び被害者親族に対するカウンセリング、職員のメンタルヘルス支援等
- 少年警察補導員……………少年の非行防止や被害少年支援に関する相談の対応等
- 海技士……………警察用船舶(警備艇)の操船、整備及び運航計画の策定等
- 理化学鑑識……………科学捜査研究所で行う、科学的な手法による事件・事故の鑑定及び研究業務
- 航空整備士……………回転翼航空機(ヘリコプター)の整備及び出動時の搭乗業務等